

シラバス

指定番号: _____

商号又は名称: 社会福祉法人 アパティア福祉会

科目番号・科目名	1. 職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、そのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学 学習時間	うち通信 学習時間	講義内容・演習の実施方法、 通信学習課題の概要など
(1)多様なサービス と理解	2.5	2.5	0	●介護保険サービス(居宅、施設) ●介護保険外サービス
(2)介護職の仕事内容や 働く現場の理解	3.5	3.5	0	●居宅、施設の多様な働く現場に おけるそれぞれの仕事内容 ●居宅、施設の実際のサービス提供 現場の具体的イメージ ●ケアプランの位置付けに始まる サービスの提供に至るまでの一連 の業務の流れとチームアプローチ・ 多職種連携、介護保険外サービス を含めた地域の社会資源との連携
合計時間数	6	6	0	

使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修テキスト 及び DVD教材
------------	--

シラバス

指定番号: _____

商号又は名称: 社会福祉法人 アパティア福祉会

科目番号・科目名	2. 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学 学習時間	うち通信 学習時間	講義内容・演習の実施方法、 通信学習課題の概要など
(1)人権と尊厳を支える介護	4.5	1	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ●人権と尊厳の保持に ●ICF ●QOL ●ノーマライゼーション ●虐待防止・身体拘束禁止 ●個人の権利を守る制度の概要
(2)自立に向けた介護	4.5	1	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ●自立支援 ●介護予防
合計時間数	9	2	7	

使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修テキスト 及び DVD教材
------------	--

シラバス

指定番号: _____

商号又は名称: 社会福祉法人 アパティア福祉会

科目番号・科目名	3. 介護の基本			
指導目標	<p>介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。</p> <p>介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち通学 学習時間	うち通信 学習時間	講義内容・演習の実施方法、 通信学習課題の概要など
(1)介護職の役割、 専門性と多職種との連携	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ●介護環境の特徴の理解 ●介護の専門性 ●介護にかかわる職種
(2)介護職の職業倫理	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ●専門職の倫理の意義 ●介護の倫理 ●介護職としての社会的責任 ●プライバシーの保護・尊重
(3)介護における安全の 確保とリスクマネジメント	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ●介護における安全の確保 ●事故予防、安全対策 ●感染対策
(4)介護職の安全	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ●介護職の心身の健康管理 (ストレスマネジメント、腰痛予防、 手洗い・うがい、感染症)
合計時間数	6	3	3	

使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修テキスト 及び DVD教材
------------	--

シラバス

指定番号: _____

商号又は名称: 社会福祉法人 アパティア福祉会

科目番号・科目名	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	介護保険制度や障がい者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学 学習時間	うち通信 学習時間	講義内容・演習の実施方法、 通信学習課題の概要など
(1)介護保険制度	4.5	0.5	4	<ul style="list-style-type: none"> ●介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ●仕組みの基礎的理解 ●制度を支える財源、組織・団体の機能と役割
(2)医療との連携と リハビリテーション	3	0.5	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ●医療行為と介護 ●訪問看護 ●施設における看護と介護の役割・連携 ●リハビリテーションの理念
(3)障害者総合支援制度 及びその他制度	1.5	0.5	1	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者福祉制度の理念 ●障がい者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 ●個人の権利を守る制度の概要
合計時間数	9	1.5	7.5	
使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修テキスト 及び DVD教材			

シラバス

指定番号: _____

商号又は名称: 社会福祉法人 アパティア福祉会

科目番号・科目名	5. 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、 初任者として最低限の取るべき(取るべきでない)行動例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学 学習時間	うち通信 学習時間	講義内容・演習の実施方法、 通信学習課題の概要など
(1)介護における コミュニケーション	3.5	1.5	2	<ul style="list-style-type: none"> ●介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ●コミュニケーション技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ●利用者、家族とのコミュニケーション ●利用者の状況に応じたコミュニケーション技術
(2)介護におけるチーム の コミュニケーション	2.5	1.5	1	<ul style="list-style-type: none"> ●記録における情報の共有化 ●報告、連絡、相談の留意点 ●コミュニケーションを促す環境
合計時間数	6	3	3	

使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修テキスト 及び DVD教材
------------	--

シラバス

指定番号: _____

商号又は名称: 社会福祉法人 アパティア福祉会

科目番号・科目名		6. 老化の理解		
指導目標		加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。		
項目番号・項目名	時間数	うち通学 学習時間	うち通信 学習時間	講義内容・演習の実施方法、 通信学習課題の概要など
(1)老化に伴うところと からだの変化と日常	3	1.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ●老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ●老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響
(2)介護職の仕事内容や 働く現場の理解	3	1.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の疾病と生活上の留意点 ●高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点
合計時間数	6	3	3	

使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修テキスト 及び DVD教材
------------	--

シラバス

指定番号: _____

商号又は名称: 社会福祉法人 アパティア福祉会

科目番号・科目名	7. 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断の基準となる原則を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学 学習時間	うち通信 学習時間	講義内容・演習の実施方法、 通信学習課題の概要など
(1)認知症を 取り巻く状況	2	1	1	● 認知症ケアの理念
(2)医学的側面から見た 認知症の基礎と健康管 理	2	1	1	● 認知症の概念 ● 認知症の原因疾患とその病態 ● 原因疾患別ケアのポイント ● 健康管理
(3)認知症に伴うこころと からだの変化と日常生活	1.5	0.5	1	● 認知症の人の生活障害、心理・ 行動の特徴 ● 認知症の利用者への対応
(4)家族への支援	0.5	0.5	0	● 認知症の受容過程での援助 ● 介護負担の軽減(レスパイトケア)
合計時間数	6	3	3	

使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修テキスト 及び DVD教材
------------	--

シラバス

指定番号: _____

商号又は名称: 社会福祉法人 アパティア福祉会

科目番号・科目名	8. 障がいの理解			
指導目標	障がいの概念とICF、障がい者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学 学習時間	うち通信 学習時間	講義内容・演習の実施方法、 通信学習課題の概要など
(1)障がいの基礎的理解	1.5	0.5	1	●障がいの概念とICF ●障がい者福祉の基本理念
(2)障がいの医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	●身体障がい ●知的障がい ●精神障がい ●その他の心理の機能障がい
(3)家族の心理、かかわり支援の理解	0.5	0.5	0	●家族への支援
合計時間数	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修テキスト 及び DVD教材
------------	--

シラバス

指定番号: _____

商号又は名称: 社会福祉法人 アパティア福祉会

科目番号・科目名	9. こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	<p>介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</p> <p>尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち通学 学習時間	うち通信 学習時間	講義内容・演習の実施方法、 通信学習課題の概要など
(1)介護の基本的な考え方	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ●倫理に基づく介護 ●法的根拠に基づく介護
(2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ●学習と記憶の基礎知識 ●感情と意欲の基礎知識 ●自己概念と生きがい ●老化や障がいを受け入れる適応行動とその阻害要因 ●こころの持ち方が行動に与える影響 ●からだの状態がこころに与える影響
(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	6	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ●人体の各部の名称と動きに関する基礎知識と生活支援 ●骨・関節・筋に関する基礎知識 ●ボディメカニクスの活用 ●中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ●自律神経と内部器官に関する基礎知識 ●こころとからだを一体的に捉える ●利用者の様子の普段との違いに気づく視点
(4)生活と家事	5	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ●家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援
(5)快適な居住環境整備と介護	4	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ●快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障がい者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法

(6)整容に関連したところ とからだのしくみと 自立に向けた介護	6	6	0	●整容に関する基礎知識、整容の 支援技術 (衣服の選択・着脱、身じたく、整容 行動、洗面)
(7)移動・移乗に関連した ところとからだのしくみと 自立に向けた介護	8	8	0	●移動・移乗に関する基礎知識、 様々な移動・移乗に関する用具と その活用方法、利用者・介護者に とって負担の少ない移動・移乗を 阻害するところとからだの要因の 理解と支援方法、移動と社会参加 の留意点と支援
(8)食事に関連したところ とからだのしくみと 自立に向けた介護	6	6	0	●食事に関する基礎知識、食事環境 の整備・食事に関連した用具・食器 の活用方法と食事形態とからだの しくみ、楽しい食事を阻害するところ とからだの要因の理解と支援方法、 食事と社会参加の留意点と支援
(9)入浴、清潔保持に関 連 したところとからだのしく みと自立に向けた介護	9	7	2	●入浴、清潔保持に関連した基礎 知識、様々な入浴用具と整容用具 の活用方法、楽しい入浴を阻害する ところとからだの要因の理解と支援 方法
(10)排泄に関連したこ ころ とからだのしくみと 自立に向けた介護	9	7	2	●排泄に関する基礎知識、様々な 排泄環境整備と排泄用具の活用 方法、爽快な排泄を阻害する ところとからだの要因の理解と 支援方法
(11)睡眠に関したところ とからだのしくみと 自立に向けた介護	2	2	0	●睡眠に関する基礎知識、様々な 睡眠環境と用具の活用方法、快い 睡眠を阻害するところとからだの 要因の理解と支援方法
(12)死にゆく人に関した ところとからだのしくみと 終末期介護	4	2	2	●終末期に関する基礎知識とこ とからだのしくみ、生から死への 過程、「死」に向き合うところの理解、 苦痛の少ない死への支援
(13)介護過程の 基礎的理解	4	4	0	●介護過程の目的・意義・展開 ●介護過程とチームアプローチ
(14)総合生活支援 技術演習	8	8	0	●生活の各場面での介護について、 ある状態像の利用者を想定し、 一連の生活支援を提供する流れの 理解と技術の習得、利用者の心身 の状況にあわせた介護を提供する 視点の習得

合計時間数	75	63	12	

使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修テキスト 及び DVD教材			
------------	--	--	--	--

シラバス

指定番号: _____

商号又は名称: 社会福祉法人 アパティア福祉会

科目番号・科目名	10. 振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再認識を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学 学習時間	うち通信 学習時間	講義内容・演習の実施方法、 通信学習課題の概要など
(1)振り返り	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ●研修を通じて学んだこと ●今後継続して学ぶべきこと ●根拠に基づく介護についての要点
(2)就業への備えと 研修終了後における 継続的な研修	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ●継続的に学ぶべきこと ●研修終了後における継続的な 研修について、具体的にイメージ できるような事業所などにおける 事例の紹介
合計時間数	4	4	0	

使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修テキスト 及び DVD教材
------------	--